



安全データシート

Page 1 of 13

カベ補修材 屋外用

SDS No. : 471520

v001.2

ヘンケルジャパン株式会社

改訂:13.04.2022

発行日:18.05.2022

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1849263
製品名 : カベ補修材 屋外用

推奨される用途 : 充填材

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 性	区分1
皮膚感作性	区分1

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:	H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H318 重篤な眼の損傷。
安全対策	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338+P315 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物
化学特性： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
二酸化ケイ素	40 - 50 %
ポルトランドセメント	30 - 40 %
炭酸カルシウム	10 - 20 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類は交換すること。
眼に入った場合:	直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぎ、コップに1~2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 燃焼しない。

火災時の特有の危険有害性: 何も予期されていない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置: 保護具を着用すること。

8項目の注意を参照すること。

環境に対する注意事項: 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機
材: 物理的に除去する。

13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

保管:
安全な保管条件:

保管場所および作業部屋の換気が十分行われているようにする。
容器をしっかり密封しておくこと。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
二酸化ケイ素 [結晶質シリカ含有率3%未満の鉱物性 粉塵、吸入性粉塵]		1	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
二酸化ケイ素 [結晶質シリカ含有率3%未満の鉱物性 粉塵、総粉塵]		4	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
二酸化ケイ素 [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は100%遊離シリカの値を用いて方程式 3.0/(1.19*(%遊離シリカ)+1) により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL

ポルトランドセメント [ポルトランドセメント、吸入性粉塵]		1	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
ポルトランドセメント [ポルトランドセメント、総粉塵]		4	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
ポルトランドセメント [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19*(\%遊離シリカ)+1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
炭酸カルシウム [大理石、吸入性粉塵]		1	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
炭酸カルシウム [大理石、総粉塵]		4	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
炭酸カルシウム [石灰石（石綿繊維および1%以上の結晶質シリカを含まないこと）、吸入性粉塵]		2	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
炭酸カルシウム [石灰石（石綿繊維および1%以上の結晶質シリカを含まないこと）、総粉塵]		8	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
炭酸カルシウム [その他の無機および有機粉塵、吸入性粉塵]		2	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
炭酸カルシウム [その他の無機および有機粉塵、総粉塵]		8	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
炭酸カルシウム [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19*(\%遊離シリカ)+1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL

炭酸カルシウム [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,吸入性粉塵]		1	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL
炭酸カルシウム [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,総粉塵]		4	時間荷重平均(TWA):		JPISOH OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
二酸化ケイ素		3	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
二酸化ケイ素		10	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
ポルトランドセメント		1	時間加重平均 (TWA) :	この値はアスベストを含まず結晶質シリカが<1%の粒子状物質に対する値である。	ACGIH
炭酸カルシウム		3	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
炭酸カルシウム		10	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH

設備対策: しっかりした換気/排気を確保すること。

保護具:

呼吸用保護具: 十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

手の保護具: 熱溶解物を扱う際は、屈折性の手袋を着用すること。

眼の保護具: 防護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具: 保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	固体	色:	ライトグレー
pH:(濃度: 10%)	12 - 13	臭い:	弱い固有臭
沸点:	該当なし	融点:	データ無し/対象外
蒸気密度:	データ無し/対象外	密度:	該当なし
		蒸気圧:	データ無し/対象外

引火点:	該当なし	爆発範囲 (上限) :	データ無し/対象外
爆発範囲 (下限) :	データ無し/対象外	粘度 :	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
オクタノール/水分分配係数	データ無し/対象外		
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性 :

反応性 : 意図された目的に使用される場合は、無し

避けるべき条件 : 湿気を避けること。
水

危険有害な分解生成物 : 仕様書に従った使用であれば分解しない。

11. 有害性情報

一般毒性情報 : これまでの経験に基づく、製品の正しい使用および取扱いで害が及ぶことは無い。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性 (経口) :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
二酸化ケイ素	LD 50	> 22,500 mg/kg	ラット	
二酸化ケイ素	LD 50	> 15,000 mg/kg	マウス	
二酸化ケイ素	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
炭酸カルシウム	LD 50	6,450 mg/kg	ラット	
炭酸カルシウム	LD 50	6,450 mg/kg	マウス	
炭酸カルシウム	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 420 (Acute Oral Toxicity)

急性毒性 (経皮) :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
二酸化ケイ素	LD50	> 5,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
炭酸カルシウム	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	LC50	> 2.08 mg/l	粉塵	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
二酸化ケイ素	LC 50	> 2.08 mg/l	ダスト	4 h	ラット	
二酸化ケイ素	LC 50	> 0.69 mg/l	ダスト	4 h	ラット	
二酸化ケイ素	LC 0	>= 0.69 mg/l	ダスト	4 h	ラット	
炭酸カルシウム	LC 50	> 3 mg/l	エアゾール	4 h	ラット	
炭酸カルシウム	LC50	> 3 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
炭酸カルシウム	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
炭酸カルシウム	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
炭酸カルシウム	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
二酸化ケイ素	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
二酸化ケイ素	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
炭酸カルシウム	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
炭酸カルシウム	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
炭酸カルシウム	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
二酸化ケイ素	陰性	inhalation		ラット	指定されていません

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
二酸化ケイ素		oral: feed	103 w daily	ラット	male/female	equivalent or similar OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
二酸化ケイ素	NOAEL P 497 mg/kg NOAEL F1 497 mg/kg	1世代試験	oral: feed	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 415 (One-Generation Reproduction Toxicity Study)
炭酸カルシウム	NOAEL P 1,000 mg/kg NOAEL F1 >= 1,000 mg/kg	screening	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間 / 処理頻度	種	試験方法
二酸化ケイ素	NOAEL > 4,000 - 4,500 mg/kg	oral: feed	13 weeks daily	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
二酸化ケイ素	NOAEL 1.3 mg/m ³	inhalation	13 w 6 h/d, 5 d/w	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 413 (Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day)
炭酸カルシウム	NOAEL 1,000 mg/kg	oral: gavage	48 d daily	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管、土壌または水辺に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ポルトランドセメント	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
炭酸カルシウム	LC50	Toxicity > Water solubility	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	EL50	> 1,000 mg/l	24 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
ポルトランドセメント	EC50	> 10,000 mg/l	24 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
炭酸カルシウム	EC50	Toxicity > Water solubility	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

データなし

毒性（藻類）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	NOELR	10,000 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
二酸化ケイ素	EL50	> 10,000 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ポートランドセメント	EC50	440 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	ISO 8692 (Water Quality)
ポートランドセメント	NOEC	60 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	ISO 8692 (Water Quality)
炭酸カルシウム	EC50	Toxicity > Water solubility	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
炭酸カルシウム	NOEC	14 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素	EC0	10,000 mg/l	30 min	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 27 (Bacterial oxygen consumption test)
ポートランドセメント	EC0	10,000 mg/l	30 min		指定されていません
炭酸カルシウム	EC50	Toxicity > Water solubility	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)

12. 2. 残留性と分解性

データなし

12. 3. 生態蓄積性

データなし

12. 4. 土壤中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
二酸化ケイ素	0.53		QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)
炭酸カルシウム	-2.12		QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)

12. 5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12. 6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

- 推奨廃棄方法:** 所轄官庁へ問い合わせの上、必要な前処理を行うこと。
- 汚染容器包装の廃棄方法:** 洗浄不可能なパッケージは、中の製品と同じ方法で処分すること。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:
危険物には該当しない。

国内輸送規制:

- 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物

二酸化ケイ素
ポルトランドセメント

名称等を表示すべき有害物

二酸化ケイ素
ポルトランドセメント

消防法

該当しない

毒物及び劇物取締法:

該当しない

PRTR法:

該当しない

16. その他の情報

発行日: 18.05.2022

注意:

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。